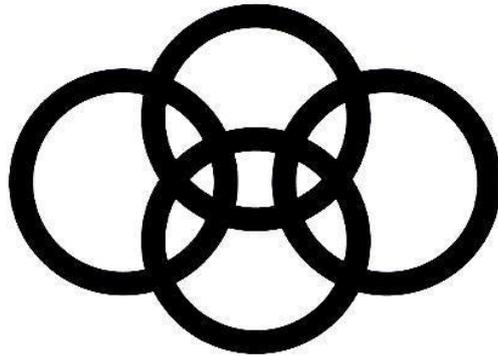


令和7年度

運営に関する計画
(最終)



大阪市立四貫島小学校

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は大正8年(1919)に創立し、100年を越える歴史と伝統に支えられた学校である。校訓にある「明るく 仲よく 健やかに」育てて欲しいという保護者や地域の方々の強い願いや、教育に対する熱き思いが基になって、先駆的な四貫島の教育が今も昔と変わらずなされている。新学習指導要領に基づいたICT教育、道徳、外国語活動など率先した学習指導を行っており、また、創立以来、本校には子どもを中心に据えた教育を学校・保護者・地域が連携して脈々と取り組んできた伝統がある。その伝統を受け継ぎ、学校・地域を愛し、わが学校・わが地域に誇りをもてる子どもを育てていくことが本校の使命であり、大きな課題と捉える。

大阪市教育振興基本計画に則り、全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざすとともに、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざしていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ◎令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を、90%以上にする。
- ◎毎年度末の校内調査において、不登校の児童生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- ◎毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- ◎令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童(生徒)の割合を令和3年度(90.5%)より2%増加させる。
- ◎令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を92%以上にする。
- ◎令和7年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ◎令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を35%以上にする。
- ◎令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ◎令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童(生徒)の割合を、100%にする。
- ◎ゆとりの日については、週1回以上設定する。
学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- ◎令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

	R5	R6	R7
全体	78%	83.3%	86.1%

◎小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

	R5	R6	R7
全体	83.7%	77.4%	81.7%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。

	R5	R6	R7
全体	38.9%	44.8%	52.6%

◎小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

	R5	R6	R7
全体	69.7%	67.1%	75.2%

【学びを支える教育環境の充実】

◎授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。

	R6	R7
全体	24.5%(1月現在)	56.3%(1月現在)

◎「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰ（時間外勤務時間Ⅰか月45時間以下かつ年間360時間以下）を満たす教職員の割合を75%以上にする。

	R5	R6	R7
基準Ⅰ達成率	73.7%	65%(1月現在)	55%(2月現在)

3 本年度の自己評価結果の総括

令和7年度の本校の自己評価の総括は以下のとおりである。

【安全・安心な教育の推進】

校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目が、全学年で97.9%に達成した。このことから、取組内容①の評価をAとした。

「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合は、全体で84.5%であった。指標は90%であったことから、おおむね達成できたとして取組内容②の評価をBとした。

小学校学力経年調査において「自分には、よいところがあると思いますか」の項目では、校内調査よりも低い結果(78.4%)であったが、他の項目においておおむね目標を達成できたとして、全体として評価をBとした。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

校内調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」の項目についてもっとも肯定的な回答する児童の割合が56.9%に達したことから、取組内容①の評価をAとした。

校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目についてもっとも肯定的な回答する児童の割合が72.8%に達したことから、取組内容③の評価をAとした。

小学校学力経年調査において「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目が、校内調査に比べやや低かったが(66.9%)、全体として、おおむね目標通り達成できたことから評価をBとした。

【学びを支える教育環境の充実】

校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、もっとも肯定的な回答をした児童の割合が57.9%であったことから、取組内容①の評価をBとした。

取組内容②は、指標を達成できていることから、評価をAとした。

全体として、おおむね目標通り達成したことから、評価をBとした。

本年度の取組内容6項目のうち、すべてにおいてA評価またはB評価であった。以上の結果から、全体として当初の目標を概ね達成することができたと考えられる。

大阪市立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>78%</td> <td>83.3%</td> <td>86.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>72.5%</td> <td>77.4%</td> <td>81.7%</td> </tr> </tbody> </table>		R5	R6	R7	全体	78%	83.3%	86.1%		R5	R6	R7	全体	72.5%	77.4%	81.7%	A
	R5	R6	R7														
全体	78%	83.3%	86.1%														
	R5	R6	R7														
全体	72.5%	77.4%	81.7%														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況		
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校行事や安全教育を通して、生活規律や学習規律を重んじ、自らを律することができる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活目標を日常的に意識できるように、児童朝会(毎週)での確認や、学校のきまりチェック(毎月)、朝の放送(毎日)での意識付けを行う。また、主体的に安全を守る行動ができるように強調週間を設ける。 いじめについて考える日(学期1)を設定し、人権読本や副読本を用いて、命の大切さや個性を認め合うことの良さについて考えることで、児童の人権感覚を養う。 <p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R7 中間 低99% 高98% 全98.5%</td> </tr> <tr> <td>R7 最終 低97% 高98% 全97%</td> </tr> </table>	R7 中間 低99% 高98% 全98.5%	R7 最終 低97% 高98% 全97%	A
R7 中間 低99% 高98% 全98.5%			
R7 最終 低97% 高98% 全97%			
<p>取組内容②【2 豊かな心の実現】</p> <p>肯定的な声かけを行ったり、指導者と保護者が連携し、毎日の成長を伝えたりすることで、自己肯定感を高める。また、委員会活動やクラブ活動、学級での係活動などを中心に、児童が責任感をもって取り組み、自己有用感を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内委員会(月1)や四貫島の子どもを語る会(年2)を設定し、教職員の連携を密にするとともに、保護者、地域との連携を図る。】 <p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R7 最終 低85% 高82% 全83%</td> </tr> <tr> <td>R7 中間 低92% 高85% 全88.5%</td> </tr> </table>	R7 最終 低85% 高82% 全83%	R7 中間 低92% 高85% 全88.5%	A
R7 最終 低85% 高82% 全83%			
R7 中間 低92% 高85% 全88.5%			

取組 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容①】

児童朝会（毎週）での確認や、学校のきまりチェック（毎月）、朝の放送（毎日）で生活目標やいじめについて随時指導することによって意識は高まってきているように感じる。しかし、廊下を走る児童がしばしば見られることもあり、意識づけができていないかは疑問が残る。

【取組内容②】

自己を多角的に見つめることができるようにクラブや委員会、たてわり班活動など、異学年で交流する機会も多く設定したことで、頑張っているところや努力しているところを児童同士で称賛し合う姿が見られた。

来年度に向けての改善点

【取組内容①】

道徳科の学習や人権教育を行う中で、人権感覚を養い、自らを律することができる力を育てていく。いじめについて取り扱った教材に取り組み、共有できるようにする。

【取り組み内容②】

目線の近い児童同士で、互いのよいところや感謝の気持ちなどを伝え合うことができる取り組みを増やしていく。（例えば、異学年で運動会や全校オリエンテーリングなどの行事の後に互いによかったことを交流する機会を設ける。）

校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について否定的に答える児童について分析し、共有する。

大阪府立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>38.9%</td> <td>44.8%</td> <td>52.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>69.7%</td> <td>67.1%</td> <td>75.2%</td> </tr> </tbody> </table>		R5	R6	R7	全体	38.9%	44.8%	52.6%		R5	R6	R7	全体	69.7%	67.1%	75.2%	A
	R5	R6	R7														
全体	38.9%	44.8%	52.6%														
	R5	R6	R7														
全体	69.7%	67.1%	75.2%														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況	
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を育成するために、話し合い活動を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ったり、振りかえったりするための学習活動の工夫 ・ペアやグループなど、多様な学習形態での話し合い活動 <p>友だちの意見を聞いて自分の考えを深められる、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを確立していく。</p>	A	
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R7 中間 低68% 高52% 全60%</td> </tr> <tr> <td>R7 最終 低59% 高50% 全55%</td> </tr> </table>		R7 中間 低68% 高52% 全60%
R7 中間 低68% 高52% 全60%		
R7 最終 低59% 高50% 全55%		
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <p>生涯にわたり体を動かすことを楽しむ態度を育成するため、体育科の学習や「四貫島体力向上計画」の内容を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボールタイム」や「なわとびタイム」、「かけあしタイム」の実施 ・ゲストティーチャーやトップアスリートを招いた授業の実施 	A	
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R7 中間 低72% 高61% 全66.5%</td> </tr> <tr> <td>R7 最終 低74% 高66% 全70%</td> </tr> </table>		R7 中間 低72% 高61% 全66.5%
R7 中間 低72% 高61% 全66.5%		
R7 最終 低74% 高66% 全70%		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容①】

授業の中でペアやグループなど、多様な学習形態での活動を設け、積極的な意見の交流を行うことができた。児童が課題に対して、自分なりの考えを形成した上で、他者と交流することで、考えを深める活動になっていた。ハンドサインや話型を用いた話し合い活動を行うことで、友だちの意見と関連付けた発表をすることができた。

【取組内容②】

ボールタイムやなわとびタイム、かけあしタイムやゲストティチャーを活用した取り組みなどを通して、児童の運動に対する意欲を高めることができた。ゲストティーチャーやトップアスリートを招いた授業では、日頃から体育に苦手意識を持つ児童も意欲的に参加することができた。「〇〇タイム」があったので、外に出ない児童も1日1回は外に出ることができていた。

来年度に向けての改善点

【取組内容①】

対話的な活動を意識的に取り組むことはできたが、話し合うこと自体が目的となってしまった。目的意識をもって取り組んでいく必要がある。クラスや担任が変わっても児童が戸惑うことがないように、話し合いのルールや話型やハンドサインを統一させたり、交流の方法を工夫したり、充実した話し合い活動になるようにしていく。自ら学ぶ意欲を高められるような、探究的な学びを意識した授業づくりをしていく。

【取組内容②】

トップアスリートの授業は、児童がその競技や種目に興味・関心をもつきっかけとなるので、単元計画を工夫して、授業が単発で終わらないようにする。外遊びをする児童が固定化してきているので、体を動かすことが苦手な児童への対策を考える必要がある。(みんな遊びや〇〇カードなど)生涯スポーツの観点から、児童が自発的に継続して体を動かすようになる楽しい仕掛けづくりが必要である。

(様式2)

大阪市立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況								
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>◎授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>55.9%(12月時点)</td> </tr> </table> <p>※1日平均活用率 74.41%</p> <p>◎「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(時間外勤務時間1か月45時間以下かつ年間360時間以下)を満たす教職員の割合を75%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>基準1達成率</td> <td>55%(2月現在)</td> </tr> </table>		R7	全体	55.9%(12月時点)		R7	基準1達成率	55%(2月現在)	B
	R7								
全体	55.9%(12月時点)								
	R7								
基準1達成率	55%(2月現在)								
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況								
<p>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 デジタル教材を活用した朝学習や家庭学習を積極的に実施し、ICTの活用を推進する。学習者用端末を利用し、児童の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応をする。</p> <p>指標 年間2回実施する校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R7 中間 低99% 高98%</td> <td>R7 最終 低69% 高59%</td> </tr> </table>	R7 中間 低99% 高98%	R7 最終 低69% 高59%	B						
R7 中間 低99% 高98%	R7 最終 低69% 高59%								
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 勤務時間の変更、校務支援を活用した会議の効率化を図り、教職員が働きやすい環境づくりを進める。「ゆとりの日」を週に1回設定し、見通しをもった働き方を行い、その日は定時退勤に努める。</p> <p>指標 ゆとりの日を、毎週1回設定する。</p>	A								
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析									
<p>【取組内容①】 校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目において最も肯定的に答える児童は低学年69%、高学年59%となった。心の天気、デジタルドリル、調べ学習をはじめ、Google class room、canva、sky menuなど、多くの場面でタブレット端末を活用することができた。しかし、タブレットの活用や持ち帰り方については、学年によって異なり、学校全体としてタブレットの活用方法を模索していかなければならない。</p> <p>【取組内容②】 「ゆとりの日」を設定することで、自身の働き方を振り返り、業務内容を精選して勤務時間を意識した働き方ができた。しかし、教職員の多くを若手教員が占めることや保護者対応等もあり、勤務時間が増加したと考えられる。</p>									
来年度へ向けての改善点									
<p>【取組内容①】 心の天気の入力は、入力させることが目的となっており、有効的に活用できていない。児童の些細な気持ちの変化に気づき、いじめの早期発見に繋がるような活用方法、入力のさせ方を考えていく。児童のタブレットの持ち帰り方や家庭でできること等、各学年の取り組み方を共有する場を設ける。また、授業で有効的なタブレット端末の活用の仕方やアプリなどを知る機会、研修を設けるようにする。</p> <p>【取組内容②】 働き方改革＝学校行事や業務の削減というような、時間削減という概念ではなく、働く内容について考える必要がある。児童につけたい力、ねらいを見据えた学校行事になるよう、業務の精選をしていく。</p>									

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪府立四貫島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度については、「年度目標の達成に向けた取組内容・取組の進捗状況を測る指標」の6項目のうち5項目においてA評価、1項目でB評価という結果から、年度目標については目標どおりに達成することができたことを、学校長より説明がなされた。

学校より提示された「運営に関する計画(最終評価)」については、今年度の取組内容、達成状況等の全てにおいて、学校協議会において精査したところ、校内で適正に審議され、評価されていることを確認することができた。

学校協議会では、本年度の自己評価結果の総括は妥当であり、四貫島小学校の取り組みが年度目標に沿って、円滑に進められていることと評価する。

2 年度目標(全市共通・学校園)ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

◎小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○年度目標の達成状況については、各取組内容の進捗状況をふまえ、総合的にAとしたことを、学校長から説明された。

○学校長の説明を受け、学校協議会で精査したところ、校内で適正に審議され、評価されていることが確認できた。

○四貫島小学校の自己評価は妥当であり、本校の【安全・安心な教育の推進】に関する取り組みについては年度目標に沿って、円滑に進められていたと評価できる。

○協議会委員より出された意見は、以下のとおりである。

- ・不登校や学校に通うのを渋る子どもたちとその保護者に、学校が寄り添う姿勢で多様な学習の場を設定しながら受け入れていることを理解した。地域が学校と連携しながら子どもたちを見守っていく。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。

◎小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上

にする。
<p>○年度目標の達成状況については、各取組内容の進捗状況をふまえ、総合的にAとしたことを、学校長から説明された。</p> <p>○学校長の説明を受け、学校協議会で精査したところ、校内で適正に審議され、評価されていることが確認できた。</p> <p>○四貫島小学校の自己評価は妥当であり、本校の【未来を切り拓くための学力・体力の向上】に関する取り組みについては年度目標に沿って、円滑に進められていたと評価できる。</p> <p>○協議会委員より出された意見は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの運動習慣が体力テストの結果につながっていることがわかった。
年度目標：【学びを支える教育環境の充実】
<p>◎授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。</p> <p>◎「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（時間外勤務時間1か月45時間以下かつ年間360時間以下）を満たす教職員の割合を75%以上にする。</p>
<p>○年度目標の達成状況については、各取組内容の進捗状況をふまえ、総合的にBとしたことを、学校長から説明された。</p> <p>○学校長の説明を受け、学校協議会で精査したところ、校内で適正に審議され、評価されていることが確認できた。</p> <p>○四貫島小学校の自己評価は妥当であり、本校の【学びを支える教育環境の充実】に関する取り組みについては年度目標に沿って、円滑に進められていたと評価できる。</p> <p>○協議会委員より出された意見は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実が、四貫島小学校の教育の充実につながるよう、取り組みを進めてもらいたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

<p>○学校協議会において、協議会委員より出された意見は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもたちが安心して通える学校運営を進めてほしい。そのために、地域としても協力したい。 ・教育の環境整備をさらにすすめ、日ごろの教育活動の充実をはかってほしい。
--